



# 森ボラ 通信

第114号 2011年11月20日発行  
NPO法人北海道森林ボランティア協会

URL <http://www.geocities.jp/hokkaidoforest/>  
札幌市豊平区平岸1条1丁目9-6ラルズビル3F

Tel.(fax.): (011) 816 - 7010

E-mail: hshinrin2002@nifty.com

## ■ トピックス

### ◆ 活動報告・10月17日 幌南小学校 4年生90名 (酒井・西野(澄)参加2名)

屋内森林教室、この日は藻岩山の熊情報により学校での教室となった。PP紙芝居で森ボラ紹介、幌南の森の説明、葉っぱの話をしました。葉っぱの話だけが盛り上がりました。みんなで作ってくれた樹名板各一枚を受取り「澄川の森」で使います。残りは来年、幌南の森に使います。(記・酒井)



#### 幌南の森について知りたいことがいっぱい

幌南小学校4学年「学年便り・ハイタッチ」が届きました。以下、一部を抜粋して紹介します。

10月17日にNPO法人北海道森林ボランティア協会の方2名をゲストティーチャーに招き、幌南の森についてお話をいただきました。お話は、「森林ボランティアの仕事について」「幌南の森について」「葉や木の役目」など森にかかわる様々なことを、スライドで写真を映しながら分かりやすく説明していただき、子どもたちも興味深く聞いていました。



#### ☆子どもたちの振り返りから☆

##### ～話を聞いて思ったこと、知ったこと～

- ・木は、植えすぎてもだめだということが分かりました。間引かないと、森が暗くなり、草が生えないからです。
- ・光をたくさん受けるために、手を伸ばすようなことをするけど、他の木とわざと競争させないと育たない。

##### ～これから調べたいこと～

- ・藻岩山の生き物について調べたいです。リスなどは見たことがあるけれど、その他にどんな生き物がいるか気になったからです。
- ・わたしがもっと知りたいことは、藻岩山の木々は、どのようなことに使われているかということです。

振り返りからも、話の内容を理解し、自分の調べたいことに生かそうとしていることが分かります。他にも、藻岩山の歴史や藻岩山の四季の変化に興味をもっている子どももいます。植物の種類、動物の種類を知ることだけに終わらず、そこからそれぞれのかかわりについて考え、より広い視野で藻岩山の魅力について発見できる学習を進めていきます。  
(札幌市立幌南小学校学年便りから)

## ■ 現場より

### ◆ リンゴ園支援、今年度作業終了

(11月9日(水)・7名)

9日、長い間療養していた山中さんも参加して、フジの収穫を行ない、今年度の作業は終了した。

4月7日の老木処理にはじまったリンゴ園の作業は、5・6月の花摘み、6・7月の摘果、7月の袋かけ、8・9月の袋外し・葉もぎ、10・11月の収穫と延37日、215名に及んだ。

今年は、30本ほどの木を養護施設に貸したこともあり、作業は比較的余裕があった。

園主の斉藤さんによると台風の被害は無かったが、春(受粉期)の天候不順で数は少なく、そのぶん粒は近年にないほど大きく味はよいとのこと。

参加された皆さん長い間お疲れさまでした。

感謝!感謝!

なお、引続き斉藤さんでは来年春に向けての冬囲い、冬季の剪定作業があるとのこと。

頑張ってください!

皆さん、お疲れ様でした。(記・和田)



### ◆ 澄川の森にトイレ完成する!

2011年度の学童・学生対象の森林環境整備の事業を展開しています。その事業の一環として、子供たちの活動で不自由していたトイレが完成、使用出来るようになりました。

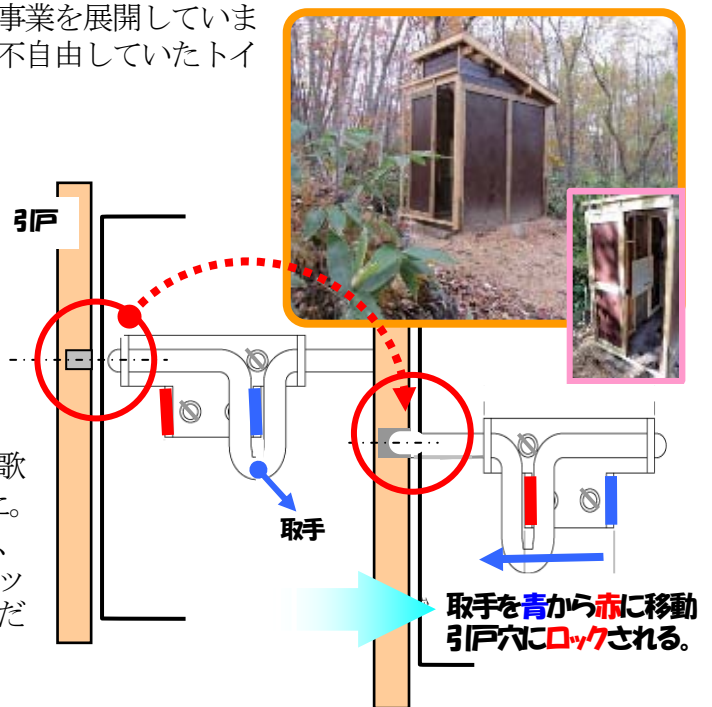
利用方法は、「おがくず」を利用して自然に還す方式。トイレ内には散布用のおがくずが用意され、収納箱下部の小窓をあけてカップで受け便槽内に散布するものです。おがくずがスムーズに排出出来ない場合に備えウレタンハンマーも用意しましたので収納箱側面を軽く叩いて排出してください(軽く軽く、ですヨ…)。

トイレ内にはほうきも用意、「トイレの神様」歌詞を掲示、など衛生的な使用の喚起を促しました。

一方、出入口戸前面に「空・使用中」の切替標識、内部はゲートラッチロック金具(図参照)でのロック方式を採用しました。釣引戸は雪害を出来るだけ少なくする配慮ですが、高床式ではないので冬季間の入口付近の除雪作業が欠かせません。

また、軒は室内喚起のため空けています。夏季のスズメバチなど虫の侵入に注意が必要です。

子供たちが使用します、改善点などお聞かせ下さい。(記・西野(榎))





## ■ ひとこま

### ◆ 樹木園と苗畑整備 活動報告

＜＜ ローソン支援事業 ＞＞ 9/21～11/02(延5日間、68名)

国土緑化推進機構・ローソン支援事業の助成を受けて樹木園整備事業は順調に進行しています。毎木調査は終了して除伐すべき木が選木されて冬季の除伐を待ちます。



●**苗畑整備** 10月に入って木々は葉を落として山取りの適期となりました。今年は熊も困るほど木の実が稔らず私たちもドングリが拾えませんが、そのために三回、苗の山引きを行いミズナラ中心に770本の苗を苗畑に移植できました。昨年が稔り年であったために遊歩道沿いに12号17号ポットに山引きして雪害防止に斜めに並べて2年間育苗の計画です。

●**樹木園整備** 50m×50mの面積ですがその中に5m×20mほどの穴地(無立木地)があり以下の幼木を5本かたまりで植えました。これは森林を成立させるいわゆる植林ではなく子供たちや自分たちの樹種判別の学習目的であり早生、極相ませ混ぜです。また冬季間除伐樹の伐倒時の損傷を気にする会員もおられますが、複層林施業の練習と思って正確に伐倒方向を決めましょう。

●**植栽樹種:** カシワ カツラ アオダモ エゾヤマザクラ トドマツ エゾマツ クリ ヤチダモ オニグルミ ケヤマハンノキなど合計50本でおいおい増やしてゆきます。

**注: 樹名板** 樹名板7種は幌南小学校の生徒が作ってくれたものを使い、残りは冬季作業としてこれから製作となります。(記・酒井)

### ◆ 北大「都ぞ弥生」百年記念植樹を支援

(11月12日(土)・10名)

「都ぞ弥生」とは

札幌農学校恵迪寮6代目寮歌として明治45年(1912年)に誕生。その歌詞は5番まであり北海道四季の自然賛美に徹し、全国的に愛唱される名歌となりました。寮歌は寮生(学生)自身が作ったものです。

北海道大学となった現在でも校歌をさしおいてこの寮歌が校歌格としていろいろな場面で歌われております。恵迪寮は現在においても寮歌を毎年1曲ずつ作り続けていますが、これを凌ぐ作品は出ていません。

この寮歌の讃える大自然に憧れて内地学生が

続々と津軽海峡を渡ってきたのです。多くの恵迪寮OBにとっては人

生の岐路となった歌なのです。2012年は誕生後100年目に当たることから、北海道開拓の村「恵迪寮」に記念植樹を行うことになっていますが、この秋に植えたのは1年でも早くサクラ記念樹の花見がしたい老OBのリクエストに応じてのものでした。

尚、当会は横山理事長をはじめ河村、柴野、酒井、高野の各理事5名のOBが在籍しています。(記・高野)



## ■ 今月の幹事会

出席者：市山・荻田・樫棒・酒井・佐野・高野・津金・釣井・西野(悌)・矢澤・和田  
審議および決定事項

- 1 12月スケジュール調整・冬期セミナー計画（12月～3月）について
- 2 北海道森林ボランティア協会創立10周年記念行事専任者（樫棒さんに要請）の件
- 3 CGC 烏柵舞の森看板設置及び地持えの状況
- 4 ホームページの更新（深町案の対応）について
- 5 委員会報告 広報委員会（助成金・寄付金等のHP対応） 業務委員会（作業計画他）  
助成委員会（来期助成対応） 研修・企画（セミナーのスケジュール他）
- 6 忘年会対応（苫小牧博物館見学等）
- 7 その他、ローソン看板作成の件、救命・救急講習会、澄川樹木園の毎木調査報告

★12月7日・8日（水・木）忘年会（カルルス温泉）参加者募集中です★

## ■ 活動履歴

活動日	行事・活動地	参加数	活動内容
10月19日（水）	澄川	17	木道整備
10月20日（木）	澄川	4	看板作成
10月21日（金）	澄川	14	道民の森づくりネットワークの集い準備
10月22日（土）	北海道道庁赤レンガ広場	11	私たちの森林保全活動紹介と薪割り機実演
10月25日（火）	澄川	12	樹木園整備・除伐
10月26日（水）	北海道CGCの森	0	最終検収10/7に終了
10月28日（金）	澄川	17	樹木園整備・除伐
11月2日（水）	澄川	13	樹木園整備・除伐
11月4日（金）	澄川/CGC 烏柵舞の森	14/2	樹木園整備・除伐/現地調査
11月10日（木）	澄川	17	樹木園整備・除伐
11月12日（土）	野幌開拓の村	10	恵迪寮100周年記念植樹作業
11月14日（月）	幹事会	11	定例幹事会

※リング園活動：10/18・20・26・27・31・11/1(以上中止)・11/7(4名)・11/9(7名)

### ◆ 「道民の森づくりネットワークの集い2011」に参加して

10月22日（土）雨模様でしたが、39の参加団体を数え赤レンガ庁舎前の広場には所狭と趣向を凝らしたテント小屋が立ち並びました。

我が協会は午前と午後の部に分かれ11名が参加。普段のヘルメット姿とは違っていましたが、一生懸命日ごろの活動内容を紹介。今回の集いのコンセプトの“森を歩こう”に因んで協会のテーマは“私たちの森林保全活動”と銘打って、写真による活動紹介と薪作りの実演を行ないました。

札幌市澄川都市環境林と北海道GCGの森の写真に注目が集まり、特に澄川の森には木道設置、キノコのホダ木、炭焼きの紹介、カブトムシのビオトープ、ホテルの餌になるカワニナに生息等、札幌の中心部に近い所に自然豊かな森があることに興味をもたれた見学者が多く見られました。又薪づくりの実演ではエンジン式の薪割機の操作に子供もお年寄りの方も径30cm以上の丸太が簡単に薪になるのを直接体験でき驚きと関心を示していました。生憎の天候で多くの来場者とは行きませんでした。ボランティア仲間同士のコミュニケーションは図られたのではと感じました。（記・事務局）

